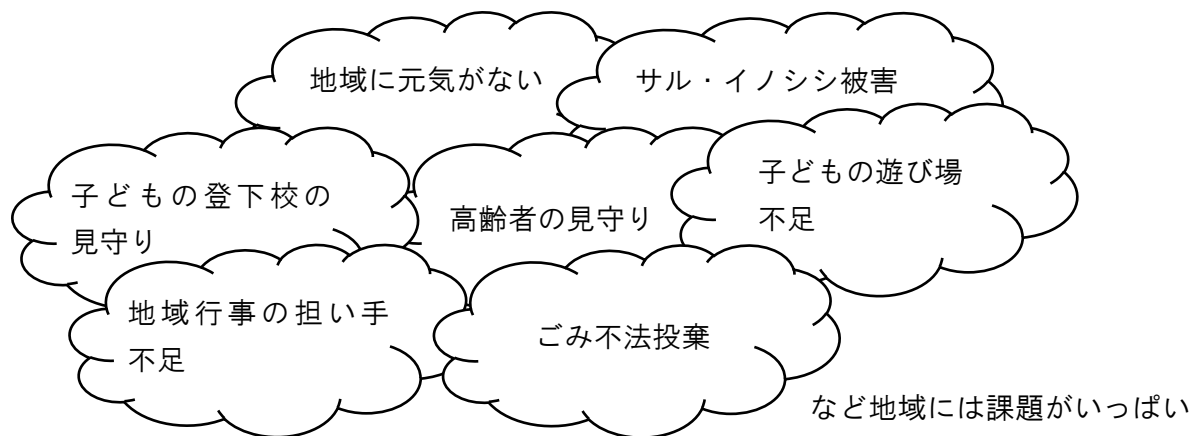


■地域活力プランナーとは

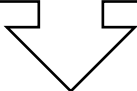
地域の課題を地域が考え取り組むことは、地域づくり活動の基本といえます。地域づくり活動をより一層効果的に推進するためには、組織の中心で地域の課題の洗い出し、取り組み方針の決定、取り組み実践など一連のプロセスを把握する人材が必要です。

市では、これらの職務に適した人材を「地域活力プランナー」として委嘱し、地域へ配置することで地域活性化と地域課題解決の取り組みの推進を目指します。

■業務イメージ



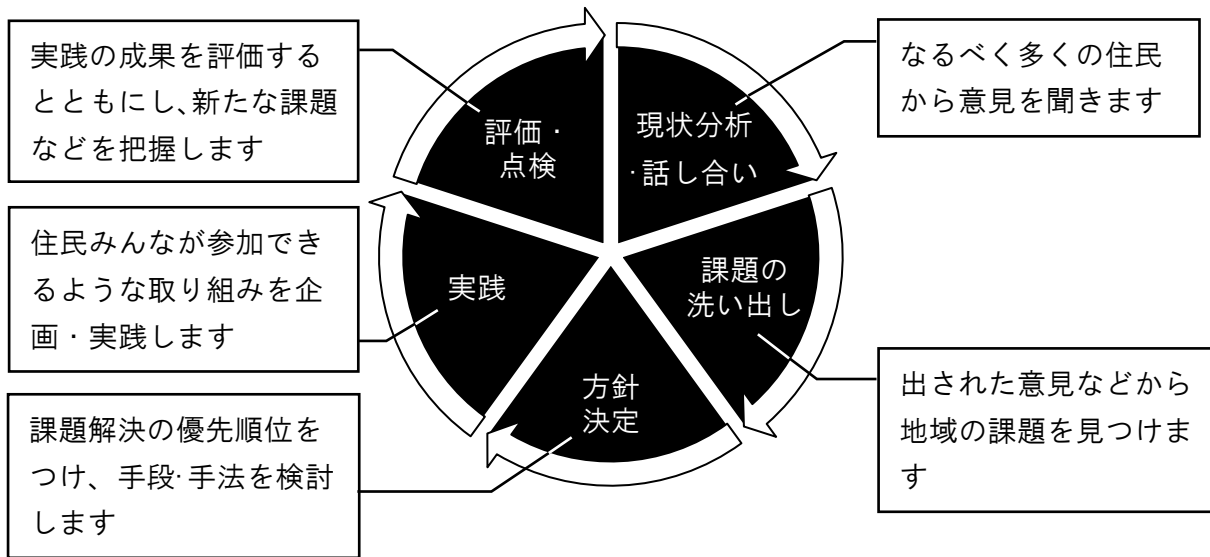
・ 地域の課題の整理（どこにどのような課題があり、どれを優先とするか）
・ 取り組みの方針（何をどのように・どの程度まで・いつごろまで）
を地域住民みんなで考え、みんなで取り組むための仕組みをつくります。



さまざまな意見をとりとまとめ集約し、取り組みを進める中心的人物
＝ 地域活力プランナー

- ・ 地域づくり協議会・連合自治会や市と連携して、地域の活性化に努めます。
- ・ 地域を巡回して状況を適切に把握しながら、地域課題を分析します。
- ・ 地域の課題を解決するための具体的な運営上の助言を行います。
- ・ 地域活性化につながる取り組みのアイデアを出し、またその取り組みを支援します。
- ・ 空き家の有効利用を検討し、市外からの移住者の定住を進めます。

■業務の展開イメージ



■組織イメージ

次の図は地域づくり協議会での位置付けの例として示したものです。実際はそれぞれの地域における地域活力プランナーの位置付けを明確にしたうえで、中心的な役割となるようにする必要があります。

